

呼吸器センター通信 vol.7

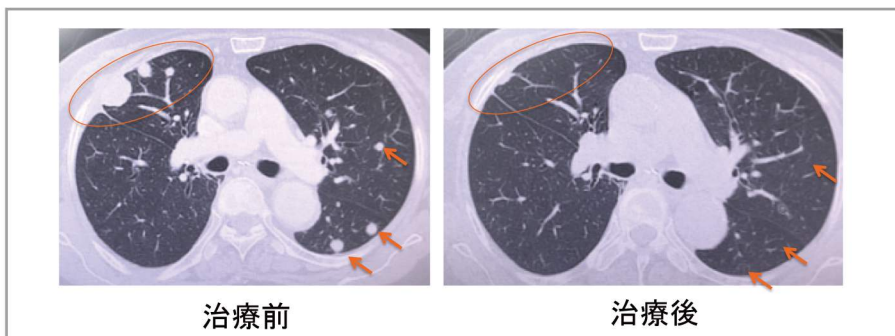
■ 第39回北九州呼吸器懇話会、基調講演について

H30年2月に行われました北九州呼吸器懇話会において、呼吸器外科岩田輝男先生が「非小細胞肺癌の最前線について」と題して基調講演を行いました。

新小倉病院における肺がん患者さんの免疫療法について、最新の

知見を交えて、講演致しました。また、免疫チェックポイント阻害薬を用いた治療を行った患者さんの中で、著効を示した症例を数多く提示しました。さらに有効症例の予測に関する考察を発表しました。最後に今年新しく臨床で使用可能となるPD-L1阻害剤についての紹介がありました。

この治療は、副作用が少なく、患者さんが良い状態を長く保てるのが、最も有用な事だと思われました。



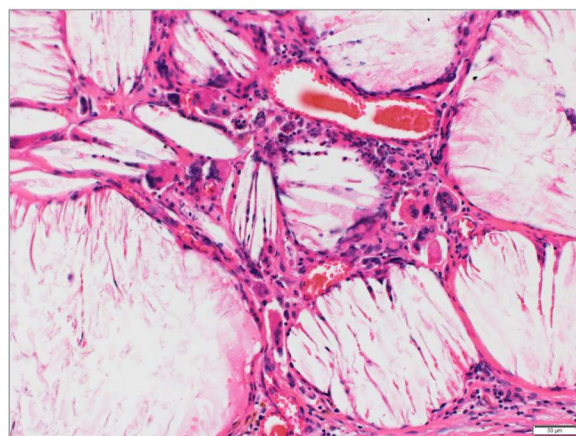
免疫チェックポイント阻害薬が著効を示した症例

■ 日本呼吸器外科学会誌、症例報告について

呼吸器外科小林健一先生が、「前縦隔に発生したコレステリン肉芽腫の1切除例」を日本呼吸器外科学会誌に投稿し、掲載予定となりました。

縦隔に発生するコレステリン肉芽腫は極めて稀であり、術前の診断が困難です。病理診断では、コレステリン結晶、炎症細胞、異物巨細胞を認めることが特徴とされています。本症例では胸腔鏡により腫瘤を摘出し、診断を確定いたしました。

なお、本演題は、第35回日本呼吸器外科学会総会にて発表予定です。



縦隔発生コレステリン肉芽腫